

阪本清一郎 備忘録(8)

会集の鐘が耳に答へた校長は鋭い目を一同に向けてながら、他の二、三の教員に耳打ちしたまま室を立ち去った。他の一人の教員は片手に書類をたずさへて出て行く。

〇〇は要らぬ、吾が好き親に会ふと思へば魂と魂との会議である。三月三日は吾等の魂を占領する記念日である。最早や吾等は斯した通辞に耳をかすものでない。生活の資料さへ欠いて

念じたのであった。吾等の最大の犠牲に依って造り上げた他人の生死を悲しき事に仕って作られた惨虐史を我々はよき日の禮賛事てせなければならぬ。そして荊冠を祝福せねばならぬ。

三百万の同胞はエタのま、両手を掲げて甲は祭壇の前に(第二回も京都市公会堂に設ける)咀□を聞くであらう。

祖先の亡霊は血まみれ

泥まみれのま、地下にうめく。次から次へと泥の中に投げ込まれたのであった。吾等はこの幾千万の其はこの永い数百年の間生れ出る者も、生れ出る者も皆な之れ程意義深い日は嘗て無い。

三月三日は何んの日である? 全国に散在する吾々三百万の部落民にとって

【中断】

(終わり)

【6月5日】

12..00 閉会

11..10 大会スローガン(案)

10..45 役員選挙報告

9..30 全体会

9..00 受付

17..30 役員選挙投票(各分散会)

15..30 分散会

14..45 提案事項

14..15 報告事項

14..00 報告

13..30 来賓あいさつ

14..00 大会運営委員会

鳥取ループ・示現舎の 差別を許さない!

鳥取ループによる差別図書販売に 販売差し止め仮処分が決定

2月、鳥取ループ(示現舎)がインターネットのショッピングサイトを利用して、中央融和事業協会が部落の調査研究目的で作成された『全国部落調査』(1936年)という書籍の販売予告と関連サイトでの書籍の内容や部落関係者の個人名など差別情報が公表された。今回の事件は、①融和事業を実施するための調査研究目的で作成された書籍を『部落地名総鑑』として販売することで差別を拡散させる行為、②古い

数人の連名で損害賠償請求の訴訟を申し立てた。この差別事件では、インターネット上で、個々が自由に利用できるショッピングサイトや書き込み法的規制がないという問題に、え、それを前提にした差別のばらまきや扇動がネット上にまん延している現実がある。県連として、今後もとりくみを展開する。

第61回県連大会

スローガン(案)
部落解放運動を前進させ「人権」「平和」「環境」を基軸に差別と戦争に反対する闘いをすすめよう!

●日程

【6月4日】

12..00 受付

13..00 開会

13..10 議長団選出

連載 (4)

よき日のために

あらゆる人々を水平社に集めねばなりません。そこで水平社についての問い合わせによって、その準備にかりたいと思えます。私どもは、あらゆる有志者にあてて水平社について一切の道信を乞いませ。私どもは早く祭壇を造りたい。そして集まった多くの同行進のありがたい姿を拝むことによつて、もっと勇ましい、もっと美しいものを獲得したいものです。

私どもは、この意見から交換から、一切の準備のきた水平社の事業が生まれるとは思いません。私どもはただ、この事業が生まれ出るのに、必須の有形無形の条件を準備して、この事業に道を拓くことに努めるのです。なお私どもは、私どもの会合によつて、よき日を信ずるすべての人々の間に永続的の合意を結びたい。そしてこの結合から、全国内の協力になる水平社組織の草案と、さらにその運動を生み出させたいのです。私どもは、「われわれは、疲れはてた時代の、薄い、そして細い反映である、憂鬱な人間のように。何事もいわれてしまった後だ、われわれはあまりに遅く生まれてきた」などとはいわない。何事も、まだ新しい社会のためにいわれてはいない。何事も、今からいなければならないのだ。さあ!みんな、仕事にとりかかるう!というロマン・ローランのような意気込みで、この運動を起こさねばならぬと思えます。私どもは諦めの運命より闘争の運命を自覚せねばなりません。実に何事も今からいねばならないのです。お互いによき日の仕事にとりかかりましょう。

私どもは、もっと自由と愛と快活なるよき日の莊嚴を信じなければなりません。よき日のために、水平社を創立しましょう。そして、そこへ集まってみれば、自然に私どもの行くべき道は明らかになるでしょう。すでに耶穌がいつています、何をいおうかと心配するな。何をいおうかと心配するな。その時になれば、神は何をわれわれがいうべきかを知らしてくる。

(三)

われわれのなかより人間は元来、いたわるべきものじゃなく、尊敬すべきものだ。哀れっぽいことをいつて人間を安っぽくしちゃいけねえ。尊敬せよ。ならん。どうだ男爵!人間のために一杯飲もうじゃねえか。ドン底のサチン

われわれも、すばらしい人間であることを、よろこばねばならない。

われわれは、すなわち因襲的階級制の受難者は、今までのように、尊敬すべき人間を安っぽくするようなことをしてはいけない。

(次号につづく)